

郡司文庫



郡司文庫の整理が終わり、2003年3月に『郡司正勝氏旧蔵 芸能関係資料目録』を刊行しました。郡司文庫には、『かぶき一様式と伝承』など先生の著書をはじめ、『役者註真庫』など近世役者評判記の古書を含めて図書が約1万点、芸能関係雑誌が約1千種収められました。その他に、先生が全国を回って採集された民俗芸能関係の諸資料が、約3千8百点あります。郡司先生は「現代風に変わってしまったもの、観光化されてしまったものは、学問の対象にならない。風化されないうち、元の色があせないうちに見て、芸能のかたちを生み出した力を知りたい、見ておきたいと探訪をつづけてきた」（『芸能の足跡 郡司正勝遺稿集』より）と語っております。



◀8mmフィルムとDVD復元版



演出台本と劇場パンフレット▶



▲郡司先生の著書

採集した資料の中には、中国文化革命後の復活間もない北京の春節花会の記録（8mmフィルム）や、郡司先生が家宝と言われた、人間国宝 山村はんの上方舞稽古実況（8mmフィルム）があり、いずれもDVDに復元されました。

また、郡司先生は研究の傍ら、昭和41年秋、国立劇場の開設と同時に専門委員、理事として運営に係られ、芝居の演出や、台本の補綴を手掛けられました。郡司文庫には、昭和42年3月公演、守田勘弥、坂東三津五郎の「桜姫東文章」の演出台本や、昭和51年国立小劇場公演、尾上辰之助、坂東玉三郎の「盟三五大切」の稽古風景（8mmフィルム）、演出台本、劇場パンフレットなどもあります。

郡司文庫は今年度4月より本学図書館にて一般公開されております。（佐々木 優）

標題・表紙のこと

標題の「ホルム(ХОЛМ)」は、ロシア語で丘の意。大学の所在地名(西岡)に因んでいます。

表紙は、雑誌架を背景に朝日の差す閲覧机に広げられた古いポスター……なのですが。

ポスターは、俳優であり演劇史家でもあった、松本克平(1906-1995)のスクラップブックから岡崎劇場での第一小劇場地方公演(昭和元年4月10・11日)と美術座名古屋公演(昭和2年11月14・15日)を選びました。

彼のスクラップブックについては、No.9で紹介したように、公演プログラム、ポスター、機関紙、ビラ、舞台写真などなど、貴重な資料が詰まっています。現在それらの資料を分類整理中で、その中のポスターなどは、一枚一枚薄い和紙で裏打ちをし、その発行年なども調べ、目録化の準備をしています。